

令和 7 年(2025) 8 月 27 日

保護者の皆様へ

札幌市立陵陽中学校

校長 石井 貴司

「開校記念日」休校のお知らせ

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、9 月 3 日(水)は、陵陽中学校の開校記念日となっており、今年度は学校を休校日といたします。なお、部活動の実施は可能となっておりますので、予定などについては顧問の連絡に従ってください。

【校章の由来】

本校が、かつて「ぼうず山」と呼ばれていた小高い丘を削り取って、その上に建てられたことから、校章は削られた台形を基本に表現されています。全体の形が、ピラミット状をなし、その『陵』が本校の所在する丘を表し、その麓の 4 点に、開校当時の本校の教育目標「真理」「知識」「情操」「健康な心身」を配しています。それらが丘の頂上に向かって求心状の稜線をなし、「中」の字(中学校)に集まるようになっています。それは「理想」「団結」あるいは人格や個性を尊重する「友愛・協力」の高まりの姿をも表現すると同時に、頂きに光輝く「太陽」が、四方に向かって放射状に陽光を放って、温かく見守っている姿を表しています。このように本校の校章は『陵』と『太陽』の象徴であり理想に向かって直進する意志の力を直線的にしかも立体的なデザインとしてまとめています。

(デザイン 小川 全 先生)

【校名の由来】

昭和 36 年、開校前の生徒のいないガランとした校舎の中で、夏休みを半ば返上して会議や開校事務に明け暮れました。その中で校名についても色々先生方と話し合いました。美園中学校、幌南……。その中で一番可能性が強いと思われたのが園ヶ丘中学校という名でした。その後検討され、「太陽の輝く丘の上に位置する」というところから陵陽という校名になりました。

(初代校長 内田克己 談)

昭和 36 年	8 月	校名を「札幌市立陵陽中学校」と決定
		開校式(1・2 年 383 名)
	9 月	「父母と先生の会」(PTA)発足
昭和 37 年	2 月	「学友会」総会・結成
	4 月	第 1 回入学式



この「記念日」に、少しでも先人のご苦労や思い、学校の歴史や地域の伝統等を考える機会としていただきたいと思います。なお、学校への電話は 8:00～16:45 の間はつながります。